

2013年8月10日 8-15時 麻酔科専門医対策セミナー

医療総合研修センター

@大阪医科大学 報告書

①開催形態

開催協力部門：医療総合研修センター、医療技能シミュレーション室、医療プロフェッショナル支援室

開催講座責任者：南敏明（大阪医科大学麻酔科学教室）

②インストラクター

コースコーディネーター

駒澤伸泰 大阪医科大学麻酔科学教室 MSSC

藤原俊介 大阪医科大学麻酔科学教室 医療プロフェッショナル支援室

インストラクター

駒澤伸泰 大阪医科大学麻酔科学教室 MSSC

藤原俊介 大阪医科大学麻酔科学教室 医療プロフェッショナル支援室

開催責任者

南敏明 大阪医科大学麻酔科学教室 医療総合研修センター

③参加者名 □は今年度専門医受験者

16名

学外4名(全て関連病院医局員、非常勤医師)、学内10名、初期臨床研修医2名

④コース内容と学習目標

| | | |
|--|--|--|
| 2013年8月10日 医療技能 シミュレーション室 @大阪医科大学 | Aチーム 尾本・中野・藤原・出口・ 中尾・尾野・瀬能・松波・ | Bチーム 三原・藤本・塩見・大地・桑村・ 岡本・石尾・北埜・城戸 |
| 8:00-9:00 (口頭試問アゲイン) | 尾本・中野・三原・藤本 対象の口頭試問(駒澤・藤原) 今年受けない人も見学可能 | |
| 9:10-9:25 | 実技試験の傾向と対策(駒澤伸泰) | |
| 9:25-10:00 | 講義 DAM2013(駒澤伸泰) | |
| 10:00-10:25 | 講義 エコーガイドCVC(駒澤伸泰) | |
| 10:25-10:35 | 休憩 | |
| 10:35-11:15 | エコー下CV穿刺(藤原) | DAMハンズオン(駒澤) |
| 11:20-12:00 | DAMハンズオン(駒澤) | エコー下CV穿刺(藤原) |
| 12:00-12:10 | ランチョン ランジオロールとストレス(駒澤伸泰) | |
| 12:10-12:40 | ACLS講義(藤原俊介) | |
| 12:40-13:00 | 休憩 | |
| 13:00-13:35 | ACLSテスト6シナリオ(藤原) | DAMテスト3シナリオ(駒澤) |
| 13:35-14:10 | DAMシナリオ3シナリオ(駒澤) | ACLSテスト6シナリオ(藤原) |
| 14:10-14:30 | 閉会の挨拶・記念撮影 | |

⑤開催風景

口頭試問





専門医試験の傾向と対策



DAM 講義



気道管理ハンズオン 輪状甲状膜穿刺と挿管用声門上器具







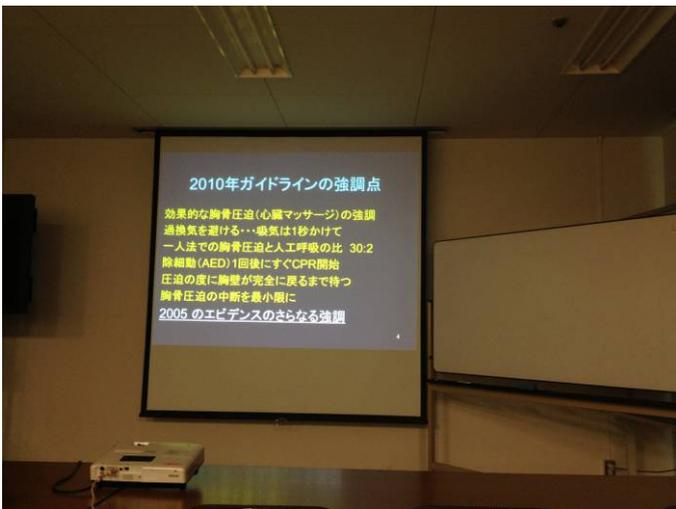
超音波ガイド下中心静脈穿刺



ランチョンセミナー ランジオロールとストレス



ACLS 講義



ACLS シナリオトレーニング



DAM シナリオトレーニング



全体集合写真



⑤開催後のアンケート

名の受講者からの回答を下記に記す

麻酔科志望の初期臨床研修医からは、本で読むだけや見学するだけの手技を実際にシミュレーターを用いて経験することができ良かった、などの意見があった。

卒後 3-5 年目の後期研修医からは、日常臨床業務の中で緊張の中で施行している手技や緊急時対応に関して、落ち着いた状況で反復して訓練することができ、次回からの処置のブラッシュアップが可能であったという意見が多かった。また、日常業務を行う関連病院ごとに手技や方法が若干異なるため、ディスカッションにより知識や留意点に対する新たな気づきを得たという意見もあった。

専門医試験を間近に控えた卒後 7-8 年目の医師からは、麻酔科専門医試験に対する自信がついた、これまで我流で手技をしていたが、スタンダードな手技の復習になった、自分が忘れていた確認事項を喚起することができた、稀だが重篤な合併症への対処を学ぶことができた、などの意見があった。全員が受講して良かったと回答した。

⑥今後の取り組み

医局全体で学内・学外で行うシミュレーショントレーニングとして、次回は 2014 年 1 月 25 日に超音波ガイド下神経ブロックセミナーを予定している。講師として、府立呼吸器アレルギーセンターの酒井規広診療主任、埼玉医科大学国際医療センター助教上嶋浩順助教を招聘予定である。